

校長室の窓から

令和2年10月22日

江戸川区立西小岩小学校 校長 則岡 小織

コロナ禍でも子どもは育つ、考える

コロナ禍で行事が中止となった今年度、「子どもたちがかわいそう」という声を耳にしますが、「かわいそう」って何でしょうか。確かに行事は楽しいものかもしれませんが、でも、学校教育の中で行う行事は「楽しさ」だけではありません。それ以上にそこには「育てたいもの」があります。行事を通して育つことは確かに大きいと感じますが、それがなくても子どもたちは、考え、育っています。

19日(月)に、6年生が「ミニ体育大会」を行いました。例年なら広い江戸川区の陸上競技場で他校と共にいき、競い合う大会です。今年は校庭で開会式から閉会式まで、大会さながらに実施しました。体育の時間に練習してきた自分の種目に一生懸命チャレンジしていました。大きな声での応援はできませんでしたが、できる限りの応援で盛り上がりました。競技の準備も自分たちで行っている姿に成長を感じました。

【選手宣誓】



大会ができる喜びを感じ、指導してくださった方々、練習のために校庭を優先的に使わせてくれた皆さんへの感謝の気持ちを持ち、己に打ち勝つ大会とすることを宣言しました。大変立派な選手宣誓でした。閉会式の言葉では、この大会を通して学んだ「あきらめない」「友達と高め合うことの尊さ」「感謝」の3つをあげ、卒業までの学校生活に生かしていくことを誓って大会を終えました。



【ハードル走 高跳び 100メートル走 選抜リレー 全員リレー みんな頑張りました】

「見てますその背中、走れとべ6年生！」という5年生の応援は励みになったことでしょう。6年生のために何かしたいという5年生の思いを大切にしたいです。「ミニ体育大会」は、決して6年生だけのものではなく、他の学年の心も育てています。これが、学校行事の意義です。意義ある学校行事とするために今年度は学校も教員も考える機会をいただいたように感じます。それは、指導する教員がその意義を理解していなければ子どもが育たないからです。

学年の交流だって工夫次第！

【リース作り 1年生】

あさがおのつるを使って生活科でリースを作りました。温かい気持ちになれるリースで廊下が大変身！持ち帰りを楽しみにしててください。このリース作りにも6年生が休み時間にお手伝い



来てくれました。1年生に優しく教えること、それを聞くことも大事な関わりです。

1年生の「ありがとう」という言葉に、嬉しいような、くすぐったいような気持ちになったのではないのでしょうか。そして1年生も大切な言葉「あり

がとう」を伝えることができた素晴らしい時間だったと思います。だから、作品にも温かさが表れているのでしょう。

【昼読書の読み聞かせ 2年生・5年生】

交流はまだあります。元気いっぱい一番人数の多い5年生。最高学年へのスタートを切る頃になりました。就学時健診のお手伝いが今年はありません。そこで考えた取り組みの一つが「読み聞かせ」です。相手は2年生。まずは、本選びから始まります。2年生に限られた時間で読むのにどんな本がよいのだろうかと考えたはずです。そこに、学級・学年にはない「下学年のこと」を考える必要が生まれます。照れながら始めた読み聞かせも、読み方に流れができ、2年生も食い入るように見て、聞いていました。



【ビックブックを活用した読み聞かせです】

休み時間や昼の時間を活用して、高学年が積極的にかかわっていることは素晴らしいことです。誰かのために役立っていること、「ありがとう。」「楽しかった。」「手伝ってくれたからできた。」という言葉が言われることで大きく成長します。低学年は、このしてもらった経験がいつか生きてくるはずです。心を育てる行事や交流を工夫して行っていきたいと思います。

【西小岩探検隊 社会科3年生】

先生も頑張っています！



学校の周りって、
意外と防犯に関する
ものがあるね。

あんなところにも
何かある。

学年単位で「西小岩探検隊」として地域を見て学習することができません。では、どうするか？地域の安全について学ぶには、地域を改めて歩き気付くこと、その気付きから考えることが学びとなります。そうすると地域に出て学ぶことが必要です。

3年生の先生はどうしたか？学級ごとに3回探検に出かけました。1学級を2名の先生が引率しました。音楽、図工等の専科の時間を使って2名体制で安全面を確保して実施しました。子どもたちは、班ごとにカメラをもって写真を撮り、ワークシートに書き込んでいます。きっと、自分の目で確かめた学習は素晴らしいまとめになることと思います。



先生が子どもの学習のために努力するのは当然ですが、学校によっては、専科等のあき時間は、学級事務の時間として活用したいのでその時間を使うことに抵抗感をもつ教員も少なくありません。そんな中、3年生の担任は子どものために進んで工夫していること、素晴らしいと思います。コロナ禍で「大変だから、できそうにないからやめよう。」ではなく、必要だからどう実施するのかを考えることが大事です。先生たちもいろいろ工夫して頑張っています。そして、そのような教員が西小岩小の教員であることをうれしく思います。



【ミニ体育大会の応援メッセージ 5年生】

「見えます その背中」きっと、6年生から学ぶもの、引き継ぐものがたくさんあったことと思います。

学校生活Q&A

新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での学校公開及び学校全体での教育活動が再開予定となりました。ただし、教室内の教育活動は、「3つの密」を避けることが困難なため、原則公開しません。今後の状況によっては変更されることがありますが、次のように対応していきます。

Q 1	学校公開はありますか？
A 1	教室での実施はできません。校庭での公開となります。全学年・学級の公開は時間割・天候の関係上難しいと判断し、今年度は、1年生のみ体育の様子を公開します。詳しくは、学年だより等でお知らせします。 学級編成があり、担任も変わっているので参観したい気持ちは十分わかりますが、どうぞご理解ください。

Q 2	学校公開に代わるものはありますか？
A 2	12月に保護者会を実施する予定です。担任を通じてお子さんの様子、学級の様子等をお聞きください。それぞれ学年で工夫して様子を伝えます。 5, 6年生については、日光移動教室・ウインタースクールの説明も予定しています。

Q 3	展覧会はどうなりますか？
A 3	3学期に延期した展覧会は、保護者の参観を予定しています。体育館での開催はできませんが(密になるため)、校内を活用した展示を検討中です。詳しくは、今後決定次第お知らせします。

Q 4	席書会、6年生を送る会などの行事は行いますか？
A 4	体育館において、学年単位で実施することが可能となったので席書会は実施します。6年生を送る会は、全校が体育館に集まることができないので形式を考えて計画します。

Q 5	謝恩会、卒業式はどうなりますか？
A 5	区教委から詳しい内容の通知が来ていません。卒業式については、体育館に5, 6年生と6年生保護者、教職員が集まることは「3つの密」の観点から可とならないと予測できます。12月をめどに式の方法についてお知らせします。 謝恩会については、今年度学年委員さんもない中、どこが主となって進めていくのかも含め「謝恩会」そのものについての検討も必要であると考えています。ただし、子どもたちが卒業という節目に立ち、これまでの自分の成長を振り返り、感謝する気持ちを育てる機会を設けることに意義はあます。卒業式同様、従来の在り方ではなく、形式を考えてお知らせしたいと思います。